

漁 人



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校・同窓会

巻頭言

中央聖書神学校
三宅規之

主の御名を崇めます。

中央聖書神学校の同窓会の皆様にご挨拶申し上げます。

中央聖書神学校は来年2025年に創立75周年を迎えます。今年（2024年）の3月で722名の卒業生を国内外の宣教地に送り出しています（ろう者聖書学校、教会献身者コース、基礎課程修了者などを除く）。

昨今、日本の神学校の多くが、学生数減少に苦しみ困難に陥っています。そのなかで、当校は「ペンテコステ運動は全員参加の草の根運動」をモットーに、2021年より基礎・専門課程の新しい制度を設け、過去4年間で100名の入学者を迎え入れました。現在70名以上の在籍者を有しています。そして今年9月から新たに国内初の中国語による神学教育のコースを立ち上げます。

ここまでCBCが支えられて参りましたのは、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の諸教会と信徒の皆様の祈りとご支援、そしてこの学校で学ばれた卒業生お一人おひとりが、神様に忠実に仕えておられる姿が大きな証となっているためであると考えます。心から感謝申し上げます。そして何よりも、神様ご自身が、この地にペンテコステ信仰をもって大胆に福音を語る働き人を必要とされ、CBCを守り、導いてくださっているゆえであると信じます。

世界を席卷したコロナ禍は終息したように見えますが、世界はますます混迷を深め、解決のない諸問題と格闘しています。イエス様が帰られる日が近づいていることを感じます。

これからも主の招きの声に応え、中央聖書神学校で学びと訓練を受け、来るべき日本のリバイバル、世界の救いのために働く人々がおこされますようお願いいただき、入学者を同窓生の皆様の働き場から送り出してくださいませようお願い申し上げます。

皆様のお働きの祝福を祈っております。

主にあつて。

「

しゅはり 「守破離」ということば

中央聖書神学校理事長
仁井田 義政

中央聖書神学校は、今年の3月に74回の卒業式を行い、卒業者を日本はもとより全世界に「人間をとる漁師」(マタイ4章19節)達を送り出しました。いまこの同窓会誌「漁人」の原稿を書いております私も、25期生としてこの学校で教育を受け、送り出して頂いた一人です。私は神学校を卒業し暫くすると、学んだ知識がだんだん無くなってきて、こんなはずではなかったと戸惑うことがありました。皆さんはどうでしたでしょうか。私は、中央聖書神学校で得られるものはこの程度なのだよと言おうとしているのではありません。「教育とは、学校で習った全てを忘れたあとに残るものをいう」という言葉があります。これは、1921年にノーベル物理学賞を受けられた理論物理学者のアルベルト・アインシュタイン博士の有名な言葉です。その言葉の「学校で習った全てを忘れたあとに残る」とは、「学校で習った」という前提がなければ「忘れる」ことなどは成り立ちません。ですからアインシュタイン博士は、学校を否定しているのではなく、大いに肯定しているのです。学校で習ったことは基本です。ですから、いつまでも基本に止まったままではいけないと言っているのです。

日本にも「守破離」という言葉があります。それは、日本の茶道や武道などの師弟関係で用いられている有名な言葉です。私も剣道をしておりましたから「守破離」と書かれた手拭いを頭に巻いて、防具を付けました。そのことばの「守」とは、先生から教えられた基本を徹底的に模倣し身に着けるということです。ですからスポーツに限らず、芸術の類まで「基本」を学ぶことが非常に大切なわけです。神学校は、まさに基本を徹底的に学び模倣するところです。卒業しますと、次に大切になってくるのが「破」に移ることです。「破」は、基本を無視して好き勝手にやるということではありません。その基本を基本としながらも、それを「破」って、自分本来の個性をプラスして成長することです。これをしないと、神学校を卒業して暫くすると行き詰ってしまうわけです。次には「離」の段階です。離れるとは、オリジナリティをしっかりと築き上げることです。その人のスタイルと言っても良いかもしれませぬ。真似事を後にして、その人でなければ出来ないような牧会や伝道、あるいは説教を確立することです。絵画の世界でも、それを極めた人の絵は、見ただけで誰が作者かがわかります。これはゴッホ、これはセザンヌ、これはダリ、これはピカソとわかるのです。

しかし伝道者、牧師、宣教師としての働きの中では、それでも迷うことがあると思います。そのような時には、神学校で学んだ基本に戻るのです。一期生から74期生の同窓会の皆さん、私達には神学校で学んだ基本があります。私達同窓生は、中央聖書神学校という共通の故郷を持っています。これからも同窓生としての誇りと感謝をもち、オリジナリティをもって前進していきましょう。

Central Bible College

中央聖書神学校 同窓会会則

- (名 称)
第 一 条 本会は中央聖書神学校同窓会（略称 C B C同窓会）と称する。
- (事 務 所)
第 二 条 本会の事務所を、中央聖書神学校内に置く。
- (目 的)
第 三 条 本会は、会員相互の親睦をはかり、中央聖書神学校の発展のために寄与することを目的とする。
- (事 業)
第 四 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
①総会の開催
②機関紙「漁人」および「会員名簿」の発行
③その他、本会の目的を達成するための活動
- (会 員)
第 五 条 本会は、次の会員をもって組織する。
① 正会員…正会員は、本校の卒業生とする。
② 賛同会員…賛同会員は、本会の趣旨に賛同した本教団の教職および教職夫人とする
- (会 費)
第 六 条 本会の会費は、年額 500 円とする。
- (役 員)
第 七 条 本会の役員および任期は、次のとおりとする。
① 役員は、会長、書記、会計とし、総会において各 1 名づつを選出する。
② 役員任期は、それぞれ、3 年とする。但し、再選を妨げない。
- (会 議)
第 八 条 本会の会議は、総会および役員会とする。
① 総会は、年一回会長が召集し、開催する。
② 役員会は、随時会長が必要と認めた時に開催する。
- (会 計)
第 九 条 本会の会計および会計年度は、次のとおりとする。
① 本会の会計は、会費、献金、その他をもってこれにあてる。
② 本会の会計年度は、1 月 1 日～12 月 31 日とする。

付則…本会会則は、1992 年 3 月 3 日から施行する。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校同窓会

=====
中央聖書神学校同窓会 郵便振替 口座

記号番号 00150-7-697423

中央聖書神学校同窓会
=====

AG 教職の皆様へ

1. 同窓会費は、500 円/年です。
2. 領収書の必要な方は、口座をご利用ください。
3. 不要の方は、所属教区の担当者にお渡しください。
4. 2025、2026 年度分、1000 円の会費をお願い申し上げます。
5. 今年度より前の会費の他、献金も受け付けています。

その他の同窓生の皆様へ

1. 同窓会の活動に対する献金を受け付けています。
2. 住所変更等がございましたら、HP からお知らせください。
3. 『漁人 2024』を郵送させていただきます。

詳細は、同窓会の HP をご覧頂ければ幸いです。

<https://www.cbc-j.ac.jp/dousoukai/>



あとがき

毎週火曜日に、祈りのビデオをアップされている教団の祈祷推進委員の U 先生がおられます（註1）。この働きに触発され、週ごとの「祈祷リスト 2024 年度版」を作成し CBC 同窓会の HP にアップしました（註2）。4 月から「第2週 1期～3期」「第3週 4期～6期」「第4週 7期～9期」と同窓の友の為に祈ることを始めました。今回の印刷データを仕上げる 9 月は、「第2週 45期～46期」「第3週 47期～49期」「第4週 50期～52期」とお祈りを積み重ねてきました。校長、並びに、理事長の原稿は、「18期～20期」「21期～24期」「25期～27期」の同窓の友の為に祈りをしていた、6月に送信して頂きました。

コロナの影響で滞っていた会費の納入も各教区の担当係の先生方の奉仕によって、今回の印刷・発送費を賄うことが出来ました。心から感謝申し上げます。

今回は、2024 年度卒業生 8 名を合わせて、721 名の同窓生となりました。まことに主の大いなる恵みを覚えつつ、感謝に堪えません。皆様の上に、主の豊かな祝福が注がれますように、心よりお祈りします。

いかなる場合にも祈りなさい。どんなことでも、聖霊様の考えにそって
神様に求めなさい。必要なものをひたすら願い求めなさい。
各地に散らばったすべてのクリスチャンのために、熱心に祈り続けなさい。
(エペソ 6 章 18 節 リビング・バイブル)

2024 年 9 月 30 日
33 期生 中央聖書学校同窓会
会 長 能城一郎

註1：<https://j-ag.org/祈祷推進委員会/>



註2：<https://www.cbc-j.ac.jp/dousoukai/PrayerList2024.htm>



お願い：個人情報保護法が施行されて久しくなります。そのような中で、「漁人」を発行いたしました。情報の取り扱いに関しましては、くれぐれもご配慮をお願いします。

中央聖書神学校 同窓会誌「漁人」
発行 2024 年 10 月 25 日
会 長 能城一郎（33 回生）
書 記 岡山志伸（60 回生）
会 計 横山あかり（68 回生）
委 員 大野和也（70 回生）